

学年
通信

魂知輪

令和6年5月13日
第12号
小代中学校3年生
発行者:梅谷俊平

雨降って地固まる



朝、家のドアを開け、パラパラと降る雨を見た時、「なんかしんどいなあ」と思ってしまいます。ですが、庭に植えたレタスや玉ねぎにとっては、恵みの雨となりました。同じことでも、真逆に捉えることがたくさんありますね。雨に打たれ、びしょびしょになるのは嫌ですが、雨という天気自体、私は嫌いではありません。それは、雨の時に聴く音楽がとても心地よいからです。雨の日にぴったりの曲を紹介しておきます。また、聴いてみてください。

ドビュッシー / 『版画』より第3曲「雨の庭」

ショパン / 前奏曲第15番『雨だれ』

松任谷由実 / 「雨のステーション」

Nacio Herb Brown / Singin' in the Rain「雨に唄えば」 (ミュージカル)

「雨降って地固まる」とは、もめごとや苦難の後には、以前よりも結束が強まることのととえです。人生楽しいことばかりではありません。しんどいこともたくさんありますが、それを乗り越えた先には、強い自分になれるチャンスが待っていますよ。

雨の話をしました。修学旅行はぜひ、晴れてほしいなと思っています。校長先生と私は、晴れを連れてくる自信があります。みなさんも、良い行いを、継続して、天の神様を怒らせないようにしてくださいね。



雑誌・新聞は、腰の痛みとの勝負でした



資源回収、お疲れさまでした。雨の中でしたが、スムーズにトラックや収集車に積み込むことが出来ました。それにしても、私は、何を叫んでいるのか、自分でも気になります。



爽やか挨拶を心がける

『1日の始まりは、爽やかな挨拶から!』

朝に放送している、生徒会執行部が作成したCDに、この言葉が入っています。

『爽やか』という言葉英語で調べると、ニュアンスによって、10個以上も単語が出てきました。それだけ、この言葉には色々な意味が込められている、日本語独特の言葉です。みなさんの、爽やかな挨拶、振る舞いを期待しています。

ありがとうございます。でも実は・・・の話

お会いした際に、『先生、通信読みましたよ!』と保護者の方から嬉しい声掛けをして頂き、励みになっています。また、校内掲示してある時間割と、通信の予定が異なっていることに気づいて、声をかけてくれた人がいました。きちんと読んでくれているんだ、と感謝の気持ちでいっぱいです。ですが、少しここでネタばらし。私の通信の内容は、色々な人から教えてもらったことや、その人が大切にされていたこと等、共感させられた内容が多いです。みなさんにも知ってほしいな、おすそ分けをしよう、とあって日々、通信を書いています。

担任の目

褒める時も叱る時も本気で

子どもってすごいな、と思うことがあり、その1つに、「本当にそうとは思っていないよな」ということは見抜きます。だからこそ、私は、褒める時は力いっぱい褒めたいですし、叱る時も力いっぱい叱るようにしています。また、子どもは「褒められたいオーラ」をたくさん出してくれます。そして、叱られそうな時はオーラを出さず、目線を外します。わかりやすいですね。